

淳代二郡蝦蟇二百四十一人其膚二十
一人津輕郡蝦蟇一百十二人其膚四人
瞻振鉏蝦夷二十人於一所而大饗賜祿
瞻振鉏此云伊浮梨婆陸即以船一隻與五色綵帛祭彼
地神至肉入籠時問覓蝦夷瞻麻寫覓穗
名二人進曰可以後方羊蹄為政所肉入籠
梨姑問覓此云塗毗宇覓穗名此云宇保那隨瞻麻寫
後方羊蹄此云斯梨蔽之政所蓋蝦夷郡乎語遂置郡領而歸授道奧與越国司位二
階郡領與主政名一階之

新明ハ二十八代の帝なりけ付いふと出羽の

国号なく唯蝦夷と稱し飽国淳代津恆
ホそ内なり津恆ハ今陸奥ハ屬人又け付
出羽田川飽海生理ホの名あむと三代実理
光孝天皇仁和元年の条下に秋田場中及
飽海郡とあり案ずるに飽海生理ホの郡ハ
秋田より裂別く地也や生理ハ今飽海秋
田両郡の中にあり田川郡ハ其一と書よ
りあはれ先名出羽郡として載後より
裂分く地なり案ずるに新明帝の代
ハ今の飽海郡の地と秋田と稱して大川を